

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 保育所や学校の安全を確保するために（60分）</p> <p>2019年5月8日、滋賀県大津市で保育園児の列に車が突っ込み、園児2名が亡くなりました。亀岡市では、2012年に登校中の児童等の集団に車が突っ込み多くの被害が出ています。</p> <p>子どもたちの事故は、保育園でのプールの死亡事故、校外学習の後に熱中症で亡くなった児童、命に関わる食物アレルギー等絶えることがありません。</p> <p>5月、学校で同じような事故が繰り返されているという新聞報道が目にとまりました。日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度のデータ「学校事故ビッグデータ」を分析した記事で、年間107万件も学校で同じような事故が繰り返されているという厳しい内容です。</p> <p>熱中症なども含めると、事故は、小学校と中学校で各37万件、高校が26万件、幼稚園・保育所など6万件です。中学2年生がピークとなっており、年代によって痛めやすい部位が変わることもわかります。</p> <p>学校の安全は、戦後の教育改革を経て「学校衛生」の制度から「学校保健」へと法整備も進み、子どもたちの学校生活は、安全な環境で安心して学習ができることを前提としています。</p> <p>震災、不審者、いじめ、食中毒、アレルギー、熱中症といった諸課題を踏まえ、平成21年に「学校保健法」は「学校保健安全法」に改正され、「学校安全に関する学校の設置者の責務」、「学校安全計画の策定等」、「学校環境の安全の確保」、「危険等発生時対処要領の作成等」、「地域の関係機関等との連携」が新たに設けられています。</p> <p>保育所の安全については、厚生労働省から各施設・事業者、地方自治体における事故発生の防止等や事故発生時の対応の参考となるよう「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」が平成28年に作成されています。</p> <p>本市において、保育所・幼稚園、小・中学校に通う子どもたちは約7000人になります。人口の約10%を占める子どもたちの安全について、当市の施策をうかがいます。</p> <p>(1) 保育所・幼稚園の安全について</p> <p>ア これまでの事故の内容と対応について</p> <p>イ 保育所・保育園・幼稚園等における事故事例の共有について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(2) 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインに基づく取組について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 事故発生防止の取組イ 事故の再発防止のための取組 <p>(3) 小学校・中学校の安全について</p> <ul style="list-style-type: none">ア これまでの事故の内容と対応イ 市内 13 校における事故事例の共有について <p>(4) 学校保健安全法に基づく取組について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 計画策定についてイ 学校安全点検について	